

部長会議

日時：令和4年3月16日（水）

午前9時00分～

場所：市役所4階 庁議室

1 市長の話

コロナ禍で大変な中、皆と一緒に1年間乗り越えることができた。この4年間提出した議案もすべて可決される見込みである。そのことに心から感謝する。

異動するしないに関わらず、各部各課で引継ぎをしっかりと行ってほしい。22日に人事異動の内示を出す。昨年度に引き続き、通常よりも早くしている意図は、引継ぎの準備をしっかりとしてほしいということである。

5名ほど職員が不足、一部欠員となる部署がある。採用の方法を見直し、中途採用を行うなど早めに対応する。上半期は苦勞をかける部署があると思うがご容赦いただきたい。

4年間やってきて、組織の問題点がわかってきた部分がある。これからも各部と意見交換しながら、よりスムーズに動く方法を模索していく。

2 通知及びお知らせ

（1）事業進捗状況の報告について（総合政策部）

事業実施結果、次への課題を中心に各部報告を行いました。

総合政策部

・デジタルサイネージ設置

広報戦略に基づき令和4年4月から運用を開始し、市政情報を中心に発信していきます。

・市民ファシリテーター養成講座の開催

今年度の参加者は約180名でした。今後の課題は本講座の効果検証です。

・第6次総合計画の策定

総合計画審議会を3回開催しました。今年度中に策定案を作成し、公表する予定です。

・官民連携によるICTなどを活用した課題解決の実証実験

UIJとの取り組みは、教育保育職員課、住宅政策課で本格導入済みです。

人材マッチングはなかなか進んでいませんが、地域の協力を得て制度作りに結び付けていきます。

・川西市立総合医療センターの整備

新病院の建設は予定どおりに進んでいます。病院跡地の解体は今年度中に工事にかかる全工程が完了する見込みです。

【市長コメント】

- ・ イベント開催後の同窓会の取組みはよいと思う。計画等を策定するときだけに市民を集めるだけでなく、日々集まれるような体制を構築していただきたい。
- ・ 丹波少年自然の家について、報道されているとおり、調整を重ねたものの構成市の意見がまとまらず、令和5年末で建物が閉鎖されることとなった。一番の影響は自然学校ができないことである。このままでは建物が放置されてしまう懸念があるので、川西市が調整役を担っている。様々な部署に協力を依頼すると思うのでご対応をお願いしたい。

総務部

- ・ 市史編さん業務は業者に委託します。令和6年の市制70周年には市史の概要版発刊を予定しています。

・ 内部統制の推進

各部でいろんな事案を上げてもらい、情報共有を図ってきました。来年度は業者に委託し、モデル事業をいくつか選定してそれを検証することで、全庁的な取り組みに繋げていきます。

- ・ 本庁舎地下1階ワーキングスペース等整備

工事は今年度中に完了し、本格稼働は5月2日を予定しています。

【市長コメント】

- ・ 内部統制は全庁に関わることである。業務が増加する部分もあると思うが、ミスが減れば、結果的に仕事が減るという意識で取り組んでほしい。

市民環境部

・ 市内企業等への補助金の申請状況

今年度はどれも申請がありませんでした。次年度はてこ入れを図ります。

・ コワーキングスペース開設への支援について

2月21日プレオープンし、3月22日にオープンする予定です。

・ 障害者雇用定着奨励金

問い合わせはありますが、雇用にはつながっていません。

・ 自動通話録音機の貸出

次年度は65歳以上に機器を貸し出しして事業を完了する見込みです。

・ マイナンバーカードの交付の推進

令和4年度1月末時点での申請率は53%です。

・ 東久代運動公園内不法占拠物撤去

占拠物の撤去は完了し、当該土地は更地となっています。この土地をどう活用していくか

を今後検討していきます。

- ・ 中小企業事業力向上・感染防止への支援

非常に好評で、当初計上していた予算以上の申請がありました。交付申請者には全額補助金がいきわたる状況です。

- ・ ごみ収集体制の見直し

4月からごみ収集体制が変わります。市民への説明会を実施していますが、コロナ禍により過去と比べて、説明会の申し込み数は少ない状況です。

ごみの出し方を説明する冊子も配布しており、その影響でコンテナの自主管理の申し込み件数がかなり増えています。一部コンテナの納入遅れもありますが、今年度中に配布できるよう調整しています。

【市長コメント】

- ・ 補助金に関して、必要としている市民に情報を届けること、申請の大変さなど等多くの課題があるので、来年度改善をお願いしたい。

福祉部

- ・ 市立川西病院跡地への福祉複合施設整備

プロジェクトチームの下に部会を設置し、課題を検討中です。3月16日にコミュニティ代表者との懇談会を実施予定です。令和4年度の基本方針策定に向けて、引き続き検討を進めます。

- ・ 障がい者の就労機会拡大

今年度の実績として、就労総数が1,437名となっており、今年度の目標人数である1,426名を上回っています。

- ・ 生活困窮者自立のための子どもの学習支援

1月に開始しましたが、今のところ利用者はいません。委託事業者、スクールソーシャルワーカー、ケースワーカー、担当で協議した結果、ニーズがあることが判明したので、委託事業者と担当が家庭訪問をして参加を勧誘するという方法を検討しています。

- ・ (仮称)川西市手話言語条例の制定

3月議会に条例案を提出し、4月から施行される予定です。

- ・ 生活保護受給者の健康管理支援事業

健診の受診勧奨等を行った結果、令和2年度は11名だった健診受診者が今年度は24名になりました。

- ・ 地域資源 ICT 管理ツール

3月25日から「川西市サポートナビ」(通称かわナビ)の運用を開始します。

- ・ 住民税非課税世帯等臨時特別給付金

対象世帯の約70%に支給済みです。

【市長コメント】

・障害者雇用は思ったより成果が出ている。来年度は病院跡地活用の検討を本格化するので、アクセル踏んで進めていくことを期待する。

健康増進部

・応急診療所移転調整

病院閉院後北部に病院が開院するまでの間、応急診療所を北部に移転します。応急診療のほか、内科・小児科の診療を行い、外来診療を確保します。

・人間ドック・健診受診環境の整備

市立総合医療センターや協立病院の受入れ態勢が変化することにより、保健センターでの受け入れ態勢の充実が必要な可能性があります。状況を見ながら対応を検討します。

【市長コメント】

・特に北部への応急診療所の移転が遅れないようにしていただきたい。

都市政策部

・用途地域図等検索・印刷システムの導入

試運転版を庁内限定で公開中です。出てきた改善点は、反映できる範囲で反映していきます。

・南部地域整備実施計画に係る都市基盤整備

コロナの影響で、地域との協議が半年ほど遅れています。令和6年中旬の完了を目指しています。

・工事関係

すべて順調に進んでいます。

・空き家流通・活用促進

所有者登録された29件のうち10件は成約しました。空き家登録活用希望者38件のうち2件はマッチングできました。空き家活用リフォーム助成の申請件数は12件で、前年度比5件増です。

・公営住宅に若年世帯向け優先枠を設置

11月に1戸を募集したところ、3月入居が決まりました。

・公共施設等総合管理計画の改定

総合計画の内容を踏まえながら、見直しの方向性を整理していきます。

・舎羅林山開発許可への調整について

すでに開発着手済みです。市民にはさまざまな不安材料があり、問い合わせも多く寄せられています。関係所管は引き続き協力をお願いします。

- ・ 共同利用施設の今後のあり方

地域との話し合いの場が設定できておらず、当初の計画よりも少し遅れています。地元の状況を見ながら事業を進めていきます。

【市長コメント】

- ・ 舎羅林山については、期待が高いため、引き続き頑張りたい。

土木部

- ・ 道路情報閲覧システムの構築

令和4月から窓口とホームページでの稼働を予定しています。事前周知を十分に行っていきます。

- ・ 市道898号（川西北陵高校通学路）における自転車専用通行帯の整備

3月25日完成に向けて順調に進んでいます。先日、日曜日に渋滞が発生したようですが、工事の影響による一時的なものなのか、通行帯を整備したことにより車線を絞った影響によるものなのかを注視し、必要に応じて信号の調整等を行います。

- ・ 地域に応じた特色ある公園づくり

試行的に大和地域で実施しようとしていますが、コロナでキックオフができていません。まん防が明けた段階で行っていきます。

- ・ 市道1313号（川西市立総合医療センターへのアクセス道路）道路改良

無事に開通しました。信号の設置により、開通当日に渋滞が発生しましたが、信号を調整したことにより一定解消しました。新病院開院により、車の流れが変わる可能性があるので引き続き注視します。

- ・ 市道205号（川西北こども園の通園路）道路改良

タイトなスケジュールでしたが、おおむね完成しました。

- ・ 用地貸付による一元的・安定的な自転車駐車場の運営

現在の事業者と継続的に協議を行っています。市有財産貸付料徴収の合意が取れたため、一括譲渡に向けて協定書の見直しを進めていきます。有料化は令和6年になる見通しで、当初予定から1年遅れとなっています。

【市長コメント】

- ・ 市内全体に関わる話になるが、総合計画の下に各種計画が位置付けられているので、総合計画と各種計画における市長の理念を共有していただきたい。それぞれの計画で内容の不一致がないようにしていただきたい。

教育推進部

・中学生の学習支援

トライに委託して、市内公民館にてコーチングを行っています。参加者は387名で市内中学生の約1割程度です。終了後のアンケートを見ると、参加者の満足度は高いことが伺えます。次年度も引き続き事業を実施します。

・中学校給食に向けた準備

現在はアレルギー対応等の運用面を調整しています。

・学校と家庭をつなぐ連絡アプリ、学校テスト採点システム導入
導入が遅れましたが、次年度以降しっかりと活用していきます。

・公民館の活用促進、利用手続き等の見直し

2月から公民館の貸館予約システムの運用を開始しました。利用状況は81件で全体予約の1割程度です。次年度以降PRをしていきます。

こども未来部

・川西北こども園の整備

工事が完了し、予定通り4月から開園します。3月20日に市民向けに内覧会を開催します。

・留守家庭児童育成クラブの新設

4月から川西北小学校区内で、定員40名の民間留守家庭児童育成クラブを開設します。

・こどもの相談体制の一元化

12月に教育相談と子ども家庭相談を一元化し、キセラ川西プラザ2階に相談拠点を設置しました。

・セオリア移転に伴う改修及び賃料の増額

12月にセオリアが移転しました。部屋が広くなり、利用者には好評です。

・子育て世帯臨時特別給付金の支給

2月に離婚した方への新たなしくみが導入され、今後はその対応を行っていきます。

・令和4年度の組織改編

障害児支援と特別支援教育の業務が移管され、現在の2課体制から3課体制になります。

【市長コメント】

教育委員会は、今年度に組織改編してスタートがうまく切れず、結果的に事業が遅れてしまうこともあったが、来年度以降もしっかりと進めていただきたい。教育とこどもの分野は非常に重要視しているので、事業がすすめられるよう組織としてバックアップしていく。

消防本部

- ・北消防署清和台出張所の女性仮眠室整備

3月7日に工事が完了しました。令和4年度から女性職員を配置できる見込みです。

- ・高機能消防指令システム更新

2月14日から仮運用を開始しており、大きな問題はありません。3月22日に宝塚市・川西市・猪名川町消防指令センターにて完成式を行います。

上下水道局

- ・下水道浸水シミュレーション

雨水施設の情報が想定以上に不足しており、現在情報収集中です。本事業は次年度に繰り越しますが、このシミュレーションをもとに令和4年度に作成する内水ハザードマップには影響がない見込みです。

- ・平野水路（能勢電鉄平野駅北東）の雨水・土砂・流木対策工事

市民環境部、土木部と連携し、治山事業は県六甲治山事務所との調整が完了しました。治水事業は引き続き地元との調整を進めていきます。

【市長コメント】

消防本部と上下水道局は、予定通り事業が進捗していること、随時報告をもらっていることに安心している。今後は将来的な課題を見据えた対応をお願いしたい。

次年度の事業進捗報告の進め方

- ・次年度も進捗報告は継続し、行革の取り組みもあわせて報告することとします。
- ・部の経営方針は事業進捗報告と統合するので、現時点での部の経営方針の策定は不要です。
- ・総合計画に沿った事業、特にまちづくりや市民サービスの向上に重点を置いて報告をすることで、PDCAサイクルを回していきます。
- ・5月以降は、部長会議を含め庁議はペーパーレスで行います。
- ・事業進捗は議事録と合わせてホームページで公表します。
- ・事業進捗の進め方については4月13日と22日に市長・副市長とミーティングを行ったうえで実施方法を決定します。

(2) 広報戦略について（総合政策部）

- ・市民や職員アンケート等からわかった課題を基に、これからの川西市の方向性をまとめています。
- ・「みんなで伝えるからみんなに伝わる」をテーマに広報のあり方を切り替えていきます。

- ・戦略に基づき、各部署で広報のキーパーソンの選出をお願いする予定です。また4月以降にキックオフイベントを行う予定です。
- ・広報広聴課で外部人材を登用する予定なので、各部署でポスター等を作成する際の相談や助言を受け付けます。
- ・本庁地下1階の食堂跡にメディアセンターを設置する予定です。

【市長コメント】

- ・全職員が事業を進める際に、市民にどう説明するかを考えることが重要。広報広聴課に任せきりにしないでほしい。
- ・一方で、市としての一体感も必要。時間やお金を無駄にせずいいものを作るために、ために、できない人が頑張るのではなく、外部人材を活用する。アイデアは自分たちで考え、それを広報広聴課の力を借りて形にする。それが一体感につながる。

(3) 令和4年度からの政策会議・政策調整会議について（総合政策部）

- ・政策会議、政策調整会議は時間枠を設けて定期開催とし、その枠の中で市長と協議を行い、意思決定や方向性の決定を行うこととします。
- ・日程調整方法等の詳細については後日報告します。

【市長コメント】

- ・緊急で協議しなければならないものについては会議の場を待つ必要はない。
- ・政策調整会議の日程調整の都合で、スケジュールが後ろ倒しになっている印象がある。あらかじめスケジュール感を持って協議することが目的。
- ・両会議はペーパーレスで実施するので、資料は事前にデータを送ってほしい。また市長が事前に資料を読んでいるという前提で説明してほしい。

(4) 民間企業等との連携に関する基準について（総合政策部）

- ・基本的には、包括連携のように複数部局にまたがるものは政策創造課が所管し、特定の事業にかかるものは各部署で所管します。
- ・その場合に必要となる基準やルールを要綱という形でまとめていますのでご活用ください。
- ・その他相談があれば、政策創造課にご連絡ください。